

2023年度数学講究XB（数理科学概説） 日程一覧

※教室は大講義室です。（5/31, 7/11, 7/12の3日間は002講義室）

時間はa(14:55～15:50), b(15:50～16:45)の各55分間で別の教員の講義があり、それぞれの講義時間で出席をとりますので、全講義出席するようお願い致します。

月	日	曜日	時間帯	教員名	講義室	講義のタイトル
5	9	火	a(14:55～15:50)	小林 俊行	大講義室	対称性の数学
5	9	火	b(15:50～16:45)	逆井 卓也	大講義室	双曲幾何とタイヒミュラー空間
5	10	水	a(14:55～15:50)	阿部 紀行	大講義室	対称群の表現論
5	10	水	b(15:50～16:45)	河東 泰之	大講義室	作用素環と数理物理学
5	16	火	a(14:55～15:50)	松井 千尋	大講義室	孤立量子系の熱平衡化と可積分系
5	16	火	b(15:50～16:45)	三枝 洋一	大講義室	非可換類体論入門
5	17	水	a(14:55～15:50)	植田 一石	大講義室	物理学と幾何学
5	17	水	b(15:50～16:45)	加藤 晃史	大講義室	場の量子論入門
5	23	火	a(14:55～15:50)	ウィロックス ラルフ	大講義室	非線形漸化式の可積分性について
5	23	火	b(15:50～16:45)	大島 芳樹	大講義室	ケーラー多様体上の標準計量とその崩壊
5	24	水	a(14:55～15:50)	齊藤 宣一	大講義室	数理モデルと数値解析
5	24	水	b(15:50～16:45)	河澄 響矢	大講義室	Goldman bracket
5	31	水	a(14:55～15:50)	足助 太郎	002講義室	葉層構造の特性類の変形について
5	31	水	b(15:50～16:45)	関口 英子	002講義室	リー群と表現論
6	6	火	a(14:55～15:50)	高田 了	大講義室	流体方程式の数学解析
6	6	火	b(15:50～16:45)	阿部 知行	大講義室	数論幾何学と微分方程式
6	7	水	a(14:55～15:50)	小池 祐太	大講義室	ブートストラップ法と正規近似
6	7	水	b(15:50～16:45)	白石 潤一	大講義室	量子トロイダル代数と協本表示
6	13	火	a(14:55～15:50)	伊藤 由佳理	大講義室	特異点と特異点解消
6	13	火	b(15:50～16:45)	吉田 朋広	大講義室	中心極限定理と漸近展開
6	14	水	a(14:55～15:50)	木田 良才	大講義室	離散群とエルゴード理論
6	14	水	b(15:50～16:45)	中島 啓	大講義室	位相的場の理論について
6	20	火	a(14:55～15:50)	北山 貴裕	大講義室	3次元多様体の基本群
6	20	火	b(15:50～16:45)	宮本 安人	大講義室	非線形偏微分方程式の定性的理論
6	21	水	a(14:55～15:50)	戸田 幸伸	大講義室	Donaldson-Thomas不変量と圏論化
6	21	水	b(15:50～16:45)	柏原 崇人	大講義室	滑らかな領域における有限要素法の誤差評価
6	27	火	a(14:55～15:50)	岩木 耕平	大講義室	位相的漸化式と函数方程式
6	27	火	b(15:50～16:45)	ケリー シェーン	大講義室	代数多様体のコホモロジー
6	28	水	a(14:55～15:50)	ミラノフ トドール	大講義室	The Wightman axioms of Quantum Field Theory
6	28	水	b(15:50～16:45)	佐々田 慎子	大講義室	多粒子系の時間発展の解析
7	4	火	a(14:55～15:50)	会田 茂樹	大講義室	ラフパスと確率微分方程式
7	4	火	b(15:50～16:45)	林 修平	大講義室	Ergodic Optimization : TPO予想について
7	5	水	a(14:55～15:50)	葉廣 和夫	大講義室	Hochschild ホモロジーなどのホモロジー理論について
7	5	水	b(15:50～16:45)	三竹 大寿	大講義室	粘性解とエントロピー解
7	11	火	a(14:55～15:50)	増田 弘毅	002講義室	非正規型OU回帰モデリング
7	11	火	b(15:50～16:45)	高木 俊輔	002講義室	超積の特異点論への応用
7	12	水	a(14:55～15:50)	権業 善範	002講義室	代数幾何学における可換代数の有限生成問題
7	12	水	b(15:50～16:45)	伊山 修	002講義室	gentle代数とその周辺

(注意事項)

数学講究XBは全講義の出席を原則とします。ただし、以下のいずれかの理由の場合は、公休の扱いになります。

- ・教育実習のため
- ・介護等体験のため
- ・学部生向け集中講義出席のため

やむを得ない事情で欠席する場合は、事前に数理科学教務チームへ理由等をメールで連絡してください。

メール宛先：数理科学教務チーム (skyoumu.c@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)